

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき ユニットⅠ		
所在地	北海道旭川市3条通21丁目1973番地の10		
自己評価作成日	平成28年11月10日	評価結果市町村受理日	平成29年1月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成28年12月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出行事・・四季を通じて外出の機会をつくり、五感刺激・体力維持・気分転換に努めている（花見・イチゴ狩り・上川神社縁日・紅葉と秋の味覚・すし外食・文化会館や公会堂へコンサート鑑賞 他）
施設内の行事・・日本古来の伝統行事は一年を通じて行っている（初詣・節分・雑祭リ・端午の節句・七夕飾り・ことぶき夏祭り・敬老会・彼岸のおはぎ・十五夜飾り・冬至カボチャ・クリスマス 他） その他、ボランティアさんによる演芸（民謡・大正琴・オカリナ・ギター 他）を 催している。
食事・・献立を作り買い出しをして、手作りの食事を提供している。敷地内で家庭菜園をし農家さんからの旬の採れたての野菜、果物をを求めて味付け、固さ、盛り付けに配慮している。
手伝い・・朝のおしほりたたみ・もやしの芽取り・煮リンゴの皮むき・漬物を漬ける時の洗いや皮むき等の包丁作業も行っている。
入居前からの風習を大切に、出来る事と出来ない事の見極めをしながら、日々を楽しみ暮らせる様に支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旭川市内中心部3条本通りに面した21丁目に位置し、近くには病院、スーパーマーケット等があり交通の利便性にも優れた木造2階建て2ユニット（定員：18名）の開設15年目を迎えるグループホームです。一人ひとりのその日の希望に沿って、散歩や公園散策、スーパーでの買い物など戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、花菜里ランドや美瑛の丘、旭山公園での花見、果樹園でのぶどう狩りやイチゴ狩り、文化会館や公会堂でのコンサートに出かけたり、上川神社祭の縁日やすし外食など普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、戸外に出かけられるように支援している。毎年恒例の「夏祭り」では、地元の人々に参加を呼びかけて交流に取り組んだり、太鼓や民謡等のボランティアの協力を得ながら開催している。また、日常的にもオカリナやギター演奏、大正琴、出張握り寿司等のボランティアの協力を得ている。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№.1～55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)		1 ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 家族の2/3くらいと
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどつかんでいない				4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)		1 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある				2 数日に1回程度
			3 たまにある				3 たまに
			4 ほとんどない				4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1 ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 少しずつ増えている
			3 利用者の1/3くらいが				3 あまり増えていない
			4 ほとんどいない				4 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)		1 ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 職員の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1 ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30、31)		1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 利用者の2/3くらいが				2 家族等の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		1 ほぼ全ての利用者が				
		○	2 利用者の2/3くらいが				
			3 利用者の1/3くらいが				
			4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を職場に掲示し、事業所で働く職員全員が理解し、意識しながら実践している	事業所独自の理念を見やすい場所に掲示して、日常業務や内部研修会等で職員間で共有し、その実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事に参加したり、町内の飲食店に外出に出かけたり地域住民との交流を深めている	「夏祭り」では、地元の人々に参加を呼びかけて交流に取り組んだり、太鼓や民謡等のボランティアの協力を得ながら開催している。また、オカリナやギター演奏、出張握り寿司等のボランティアの協力を得ている。	
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事に参加していただいた時に、認知症の症状などの相談を受けたり、アドバイスをしている		
4		○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で地域との取り組み内容や意見などを出し合って運営に反映している	運営推進会議では、事業所の取り組みや利用状況などの具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。また、定期的に開催できるよう検討している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括センターとの研修参加において情報交換をし、協力し合い連携を図っている	地域包括センターとは、研修会参加や日常の情報交換、助言を得ながら協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修で相互で話し合い利用者の安全に過ごせる工夫を重ねて家族等に相談をし、納得の上、実施している	3圏域合同のグループホーム交流会への参加や家族介護者の集い、認知症の疾患別理解等の外部研修会へ参加している。また、指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7	7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	従業者は常に連携し、入居者と寄り添いながら暮らしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は研修などの機会もあり、必要と思われる利用者にアドバイスを行いながら支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時において十分な説明をし、重度化による医療体制など、退去後の支援も行う		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には訪問時、常に問いかけ直接意見、要望を気軽に言ってもらえる様な雰囲気づくりに配慮している	第三者機関への申し出先を掲示して苦情等を言い表せる機会を設けている。また、家族や来訪者等が意見や苦情等を言い表せるように意見箱を設置し、そこでの意見等を運営に反映できるよう努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議他、日頃から職員との話し合う機会を設け職場環境づくりに努めている	職員会議や日常業務を通じて職員の要望や意見、提案を聞く機会を設け、そこでの意見等を運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	本人の意向を重視しながら個人が常に向上心を持って働ける様な職場環境に配慮している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報を収集し、交代で参加し受講して、終了後は報告書の提示もし、閲覧できる様にしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	市内の施設見学、行事などに参加し、交流を持ち、意見交換などを参考にしてサービスの質の向上に励んでいる		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の今までの生活状態を理解し、話を聞き、信頼関係を築き本人に受け入れられる様な関係づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族と話し合いを重ね求めているものを理解し、可能な限り対応できるよう努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の考えを読みとり、必要な支援ができるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	支援する側、される側という意識を持たない様にしながら共に生活する者として支えあっている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の出来事や気づきを共有できるようコミュニケーションを大切にしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人にできる限り行事にお誘いし、参加していただくようにしている	ぶどうやイチゴ狩り、地域のお祭り参加や近所の喫茶喫食、寿司外食やドライブなどで馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が入居者同士の人間関係を把握し、みんなで楽しく過ごす場面を多く取り入れている		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も行事に招待するなど気軽に来所できるようにしている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者との関わりの中で思いを把握し、職員同士で情報共有し、希望が叶えられるようにしている	一人ひとりの生活歴やアセスメントを職員間で情報を共有し、本人の意向や思い等を叶えられるように本人本位に検討している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしを家族や本人に聞き、生活リズムを把握し、より良く暮らせる様に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを理解するとともに行動や動作から体調の変化を把握できる様に務めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、来所時には日々の生活の報告し、ご家族との意見交換をし、希望等を取り入れながらカンファレンスをし、プランをたてている	本人・家族の意向や要望、医師からの指導や助言、カンファレンスやモニタリングで職員間で話し合い、現状に即した介護計画を作成している。また状態変化時には都度見直しを実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別シートに生活の変化を記載しミーティング等での職員間で情報交換をしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生じるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて色々なサービスが出来るように取り組んでいきたいと思っています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署と町内の方々の協力により避難訓練を実施しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族、本人が希望する事を尊重しつつ、かかりつけ医との連携を密に安心して受診ができる	通院等への支援や日常の健康管理で適切な医療が受けられるよう支援している。また、本人・家族の希望するかかりつけ医となっている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応を行い、通院時には詳しく説明する様に心がけている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院での様子を家族と連携しながら把握し、速やかな退院支援に結びつけている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	本人や家族の意向を踏まえてかかりつけの医者や連携を図りながら支援しています。	重度化した場合や終末期のあり方について、入所の際の早い段階から本人・家族等と話し合い、事業所ができることを十分説明しながら方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急車が到着する前に各自出来る限り、適切に対応できる様努力している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て避難訓練、消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている	消防署の協力を得て年2回の昼間・夜間を想定した火災避難訓練を地域の人々にも参加を呼び掛けて実施している。また、消火器の使用方法や救急救命講習等を実施している。	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をしている	援助が必要な時も、まずは本人の気持ちを大切に考えてさりげないケアを心がけている	日常業務や内部研修会等で職員間で共有して、一人ひとりの誇りやプライバシーを損なわないように、言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の特徴を把握し、自由に表現できる雰囲気づくりを心掛けている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	一人ひとりの体調に配慮しながらできるだけ個別性のある支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個人の好みに合わせ服を選んだりカットや毛染めしてもらえるよう理美容院と連携を取っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力や体調に応じて調理や後片付けをしている。夏は畑で作っている野菜の収穫も手伝ってもらっています	一人ひとりの力や好みを活かしながら、畑での野菜の収穫や漬物漬け、野菜の下ごしらえ、調理の準備や後片付け等を職員と一緒にやっている。また、専門の調理員を配置して嗜好の把握、咀嚼を考慮しながら工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	肉、野菜などバランスよく入居者の健康等を考え作業をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の義歯洗浄、口腔ケアを心がけ、自分で出来る方は声掛け、見守りを行う		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心に配慮し、本人の様子から察知し、身体機能に応じて手を差し伸べたり、歩行介助を行う	一人ひとりの排泄パターンを把握しながら、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録し、便秘の方には水分補給や必要に応じて下剤を服薬したり、予防に注意している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	入浴時の湯の温度や気温に合わせて体調を崩さない様に注意している。個々単位で入浴者を記録し、常に常に衛生であるよう努力しています	個々の好みの温度に合わせている。また、入浴日を設定しているが、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴が楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活のリズムを整えるように心がけている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が内容を把握できるようにし、服薬時は本人に手渡しきちんと服薬できているか確認する		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お願い出来るような仕事を頼み感謝の気持ちを伝える様にしています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食やドライブなどに積極的に四季折々に計画をして外出の機会を設けています	一人ひとりのその日の希望に沿って、散歩や公園散策、スーパーでの買い物など戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、旭山公園での花見、上川神社祭の縁日やすし外食など普段は行けないような場所でも出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族さんよりお金を預かり事業者が管理、外出時や買い物などで自分で払っていただける様に会計時にお金を手渡ししています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族さんの手紙、荷物などが届いた時は本人に届け届いたお礼、近況報告を電話で知らせたりしています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の方が安心して過ごせる様に目配りを心がけていて、共用の場所には季節感を味わってもらえるように生花や装飾を飾ったり、畑づくりも行っている	利用者にとって、気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用空間では生け花の飾りや行事参加の写真の掲示等で生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共通の場では利用者の方が集まりお茶を飲んだり、会話を楽しんだり新聞、テレビを観ながら個々に楽しんでいる		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅と違いプライバシーを大切に考え、本人や家族と相談しながら落ち着いた穏やかな生活が出来よう工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら使い慣れた家具や寝具、仏壇等が持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の状態に応じた毎日の生活また、安全に移動等、出来るよう見守りに努めています		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172900862		
法人名	有限会社シエナリゾート		
事業所名	グループホームことぶき ユニットⅡ		
所在地	北海道旭川市3条通21丁目1973番地の10		
自己評価作成日	平成28年11月10日	評価結果市町村受理日	平成29年1月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=0172900862-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成28年12月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出行事・・・四季を通じて外出の機会をつくり、五感刺激・体力維持・気分転換に努めている（花見・イチゴ狩り・上川神社縁日・紅葉と秋の味覚・すし外食・文化会館や公会堂へコンサート鑑賞 他）
施設内の行事・・・日本古来の伝統行事は一年を通じて行っている（初詣・節分・雑祭・端午の節句・七夕飾り・ことぶき夏祭り・敬老会・彼岸のおはぎ・十五夜飾り・冬至カボチャ・クリスマス 他） その他、ボランティアさんによる演芸（民謡・大正琴・オカリナ・ギター 他）を 催している。
食事・・・献立を作り買い出しをして、手作りの食事を提供している。敷地内で家庭菜園をし農家さんからの旬の採れたての野菜、果物をを求めて味付け、固さ、盛り付けに配慮している。
手伝い・・・朝のおしぼりたたみ・もやしの芽取り・煮リンゴの皮むき・漬物を漬ける時の洗いや皮むき等の包丁作業も行っている。
入居前からの風習を大切に、出来る事と出来ない事の見極めをしながら、日々を楽しく暮らせる様に支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の実践を自己点検した上で、成果について自己評価します

項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 利用者の2/3くらいの				2 家族の2/3くらいと
			3 利用者の1/3くらいの				3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどつかんでいない				4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある				2 数日に1回程度
			3 たまにある				3 たまに
			4 ほとんどない				4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている
			2 利用者の2/3くらいが				2 少しずつ増えている
			3 利用者の1/3くらいが				3 あまり増えていない
			4 ほとんどいない				4 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 利用者の2/3くらいが				2 職員の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが				2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 利用者の2/3くらいが				2 家族等の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が				
			2 利用者の2/3くらいが				
			3 利用者の1/3くらいが				
			4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を掲示して職員間でも意識しながら実践している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の活動・公民館の研修には殆んど参加して、地域の役割を認識しながら関わっている		
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の認知症研修に参加し、認知症の方への関わり方や、考え方を理解して頂ける様にアドバイスをしている		
4		○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催時に、構成員やご家族の意見を戴き、改善する事などは会議等で職員に周知してサービス向上に繋げている		
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	中央包括支援センターとの繋がりを重視し、研修には参加しており、行事や推進会議の案内を出して協力して頂いている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員も身体拘束に対する行為は認識している。ベッド上での拘束については、センサーを設置する等で、感知した時は素早い対応をしている		
7	7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修で言葉遣いや接する態度の虐待についての認識を聞き取り、職員間でも互いに注意を払っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前、成年後見制度を活用している入居者も3名いて研修に参加したり、必要なご家族には支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族は、入居契約時にも退去時の疑問が多くある。重度化に伴い医療行為の必要性に合わせて退去に至る事を納得の上で契約を結んでいる		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族と職員の関係を密にして要望等の聴き易い雰囲気作りを重視している。ご家族からの要望や意見は、伝言ノートで即職員に周知して反映させている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝のミーティング時や職員の気付き、提案を聞いて受け止めて、対応し反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に支援を行う。勤務も希望休や年休取得も職員全員が取り、働きやすい環境を整備している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員全員が研修には順に参加して、研修内容を報告書を提出する事で全員が共有している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	グループホームの会合には参加し情報収集を行っている。他社の行事にも行ったり来たり交流をしながら良いところは取り入れている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初めての集団生活に戸惑う方が大半なので、周りとの関係に配慮しながら、不安を取り除ける様に職員との関わりも重視している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯やご家族が不安に思っている事等を傾聴しこれからの信頼関係につながるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の思いを聴き現状を見極めて、今必要としているサービスを提供できるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの長い人生経験に敬意を表しながら会話に耳を傾けて、想いに共感理解をしながら関係を築いている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に、日々の暮らしの様子や病院受診の報告をこまめにしてご家族との信頼関係を築き、共に支えている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出時など、必要に応じて送迎するなど、施設外での交流を持続出来る様に支援している		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係性を把握して、職員全員が共有化して支援している(連絡ノートに記入して職員全員に周知する)		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご家族が行事に参加したり、入院中には見舞ったり、相談を受けたり経過を見守り、関係を築いている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話や関わりの中から、希望や要望を聞き実践できるように努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から以前のライフスタイル(通っていたデイサービスの様子など)や生活歴、個性を聴き支援に活かせる様に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の生活のリズムを把握して、体調変化を見極め、出来る事はして頂く(食後の食器洗い・掃除機掛け・洗濯物の整理ほか)		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族には日々の関わりや様子をお伝えし、ご本人やご家族の想いや意見を聞き、職員と情報をカンファレンスしながら現状に沿って計画を立て作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の24時間シートにケアや変化を記載し、勤務開始時にミーティングで報告し、情報を周知し共有しながら関わっている。変化に伴いプランの見直しにも活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生じるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出送迎をしたり、買い物希望があった時はスーパーへ出向き店内を散策しながら欲しい物を買って求めたり、散歩に出でお店に立ち寄りたり柔軟に対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月1回の公民館活動「ふれあいサロン」に送迎をして多くの方が参加できる様に会話をしたり、行った方の話を聞いたりして支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけ医や希望する医療機関に定期的に受診支援を行って、往診も受けご本人が安心できる様に適切な医療を受けている		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調や些細な事も見逃さない様、早期発見に取り組んでおり、常に職員間で情報周知し受診時も詳しく報告していく様に心がけている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した時は情報を提示して出来るだけ見舞う様にしている。ご家族と連携しながら、病院関係者からの情報を基に早期に退院出来る様に相談をしている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	重度化に伴う支援体制は、入所の際に重要事項で方針を説明し納得してから契約をして戴いている。ご家族と医療機関と連携しながら、職員間で話し合いご本人にとってより良い方法で支援している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時は救急車対応をおこなう。職員も救急救命方の講習など受講している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災災害に備えて、消防署員の協力を得て、避難訓練を実施している。ご家族、近隣住民にも参加して戴いており、災害時に避難保護して頂ける様に地域住民に協力依頼している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の考えや動きに合わせて見守りをしながら個性を大切に考えている。職員全員が声掛けに気をつけて対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々に合った声掛けをし表情や反応を見極めながら自己決定が出来る様に心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	フロアで他者と会話したりテレビを観たり、居室に戻って過ごすなど、個々のペースに合わせて移動している。レクリエーションの時には好んで参加できる様に声掛けしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々に好みの服を選んで着ている。外出時のやお化粧をするなどの言葉かけをしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞いて献立に取り入れたり、家庭菜園の野菜も入居者さんと採り、直ぐに調理して食事を楽しんでいる。有する力に合わせ、毎食後の食器洗いや片付けをしている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせて量、固さ、盛り付けに配慮している。(刻み食・トロミ食)個々の残量、好みなどを把握する。水分補給もチェックし一日の必要量を確保出来る様に支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、就寝前、毎食後に義歯洗浄や歯磨きの声掛け、見守りや必要に応じて介助を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時の見守り確認をし、一人ひとりの状態を確認し記録しパターンを把握して誘導や声掛けしながら失敗の無い様に支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や、繊維質の多い物を摂る様にして、毎日の体操にも重視している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に沿った支援をしている	個々に好みの温度に合わせて入っている。形の違う2つの浴槽で状態に沿って変え、心地よく入れる様に支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況を共有し、食後に部屋で休息をされる方やフロアーで過ごす方の習慣に合わせて生活のリズムを壊さない様支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用時は本人確認、薬の内容を認識し、用量が変わった時には服用後の体調変化を見逃がさず医師の指示を受ける		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力に合わせて、毎食後の食器洗いから片付け、おしぼりたたみ、自分の部屋の掃除機掛けは習慣にして行える様に支援している。その他漬け物の仕込みは、今までの生活歴で培ってきた力を発揮して頂いている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があった時以外にも、天候に合わせて買い物したり、季節毎にドライブしたり、外食したりと出かけている。1対1でも散歩に出たり公園散策をしてご本人の希望に添える様に支援をしている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スーパーや受診時の売店の支払いは、ご自分で支払いをしたり、自販機で飲み物を買ったり使う事の楽しみを感じられる様にしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や知り合いへの電話を希望された時は繋いで話したり、遠方のご家族から手紙や荷物が届いた時には一緒に読んで、電話でお礼を言ったり、支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	娯楽室の量には座れる方と足の痛みや弱い方に合わせてソファを置いている。温度もオール電化なので一定温度を保ち心地よく過ごせる様にしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のスペースとホールに椅子テーブルの配置により、独りで新聞を読んだり、寄り添ってテレビを観たりなじめる様に居場所にも配慮している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、使い慣れた家具、仏壇等も配置し、鉢植えの花を置き、居心地の良い安心の出来る部屋になる様に配慮している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	力に合わせて調理の下ごしらえ等、包丁を使っても行う。出来る事は職員と一緒にしながら力を活かして行ける様に支援している		

目標達成計画

事業所名 グループホームことぶき
作成日: 平成 28 年 12 月 26 日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に 要する期間
1	29	公民館活動の「ふれあいサロン」に月1回3名の方が参加している。他に体力的にも外出できる方もいるが、興味、意欲が無く拒否されている	施設内とは違う他者との関わり合いをもって、環境の変化も感じられる様にもっと参加者が増える	意欲の出る言葉がけをしたり、参加した方の話を聞いたして楽しさを伝える	12か月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。
注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。